

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月14日
【四半期会計期間】	第15期第3四半期(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)
【会社名】	株式会社ミクシィ
【英訳名】	mixi, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 朝倉 祐介
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区東一丁目2番20号 住友不動産渋谷ファーストタワー
【電話番号】	(03)5738-5900(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役最高財務責任者 荻野 泰弘
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区東一丁目2番20号 住友不動産渋谷ファーストタワー
【電話番号】	(03)5738-5900(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役最高財務責任者 荻野 泰弘
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第14期 第3四半期 連結累計期間	第15期 第3四半期 連結累計期間	第14期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	9,922	6,357	12,632
経常利益又は経常損失( ) (百万円)	2,349	636	2,629
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失( ) (百万円)	1,621	1,573	1,654
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,631	1,481	1,691
純資産額 (百万円)	16,217	14,479	16,291
総資産額 (百万円)	19,906	17,623	20,083
1株当たり四半期(当期)純利 益金額又は四半期純損失金額 ( ) (円)	108.61	105.40	110.83
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	108.51	-	110.73
自己資本比率 (%)	81.2	81.8	80.8
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,940	570	2,836
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	677	1,231	946
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	137	327	137
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	8,555	9,628	9,199

回次	第14期 第3四半期 連結会計期間	第15期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( ) (円)	27.84	14.84

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 平成25年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。第14期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額又は四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。
4. 第15期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

### （ソーシャルネット事業）

第2四半期連結会計期間において、SNS「mixi」の広告販売事業等を営む株式会社ミクシィマーケティングを会社分割（新設分割）により新規設立し、連結子会社としております。

なお、平成26年1月31日付で平成26年4月1日にI S M M設立準備株式会社（株式会社アイスタイルの子会社）に対し、一部事業及び当該事業に係る固定資産等を譲渡する事業譲渡契約を締結しております。

### （その他）

当第3四半期連結会計期間において、結婚支援事業を営む株式会社Diverseの全株式を取得し、連結子会社としております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	9,922	6,357	35.9%
営業利益又は営業損失( ) (百万円)	2,342	509	- %
経常利益又は経常損失( ) (百万円)	2,349	636	- %
四半期純利益又は四半期純 損失( )(百万円)	1,621	1,573	- %
アプリ会員数	897万人 (平成24年12月)	1,514万人 (平成25年12月)	-

(注) アプリ会員数は、当社グループ提供のスマホアプリダウンロード数の積算値(当社調べ)になります。

なお、「モンスターストライク」のアプリ会員数は含まれていません。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策への期待感から円安・株高が進行し、個人消費や企業業績の一部に持ち直しの動きが見られたものの、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化や欧州経済の長期低迷等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

インターネット関連業界におきましては、「2012年度通期国内携帯電話端末出荷概況」(株式会社MM総研)によりますと、平成24年度のスマートフォン出荷台数は前年度比23.0%増の2,972万台で総出荷台数の71.1%となり、スマートフォンへの移行が加速しております。

このような経済環境の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,357百万円(前年同四半期比35.9%減)となり、営業損失は509百万円(前年同四半期は営業利益2,342百万円)、経常損失は636百万円(前年同四半期は経常利益2,349百万円)となりました。また、当社における繰延税金資産の回収可能性を将来の不確実性を含め慎重に検討した結果、繰延税金資産を第2四半期会計期間において全額取崩したこともあり、四半期純損失は1,573百万円(前年同四半期は四半期純利益1,621百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ソーシャルネット事業

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	9,159	5,194	43.3%
広告売上高(百万円)	3,823	1,132	70.4%
課金売上高(百万円)	5,336	4,061	23.9%
セグメント利益(百万円)	3,535	1,002	71.6%

ソーシャル・ネットワーキング サービス「mixi」におきましては、「つながりをつくる」というサービス価値の最大化に向けた取組みを推進しております。スマートフォンデバイスの普及に対応するため、主要機能のスマートフォンアプリの提供を開始しております。また、コミュニティ・ニュースの情報の一部をインターネット検索の対

象にすることにより、同じ趣味・関心を持つ人同士を「mixi」でつなげ、サービスの活性化を図ってまいりました。

加えて、新しい取組みとして平成25年10月に提供を開始した、スマートフォンネイティブゲーム「モンスターストライク」は、簡単な操作で誰でも楽しめること、一緒にいる友人と協力する仕組み（マルチプレイ）により、テストマーケティング期間であるにもかかわらず、12月に利用者100万人を突破し、順調に利用者を拡大してきております。

収益面では、「モンスターストライク」の売上が順調に成長していることもあり、課金売上高に回復の兆しが見えてきております。一方、広告売上においては、デバイス環境の変化等の影響から広告売上高が減少しておりますが、アドネットワーク広告の強化により、下げ止まりつつあります。

この結果、当事業の売上高は5,194百万円（前年同四半期比43.3%減）、セグメント利益は1,002百万円（前年同四半期比71.6%減）となりました。

#### Find Job !事業

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	729	609	16.4%
セグメント利益(百万円)	598	472	21.1%

Web系求人サイト「Find Job !」におきましては、Web系の求人情報に特化することにより他社との差別化を図ることで収益の拡大を目指してまいります。しかしながら、IT業界において一部採用抑制などの動きが見られることもあり、当事業の売上高は609百万円（前年同四半期比16.4%減）、セグメント利益は472百万円（前年同四半期比21.1%減）となりました。

#### その他

インターネットリサーチやフォトブックサービス「ノハナ」、結婚支援事業等の新規事業を行っております。

インターネットリサーチにおいては、7月に「mixi」ユーザー向けのネットリサーチの提供開始するとともに、12月に店舗等での覆面調査を行うミステリーショッピングサービス「ショッパーズ・アイ」を取得しております。

また、「ノハナ」におきましては、会員数が順調に増加しております。さらなる事業拡大を図るため9月に完全子会社として株式会社ノハナを設立するとともに、11月より新サービスとして「ノハナ年賀状」を提供いたしました。

加えて、11月に街コンイベントを運営する株式会社コンフィアンの全株式を取得し、12月に結婚支援事業を運営する株式会社Diverseの全株式を取得しております。

この結果、当事業の売上高は554百万円（前年同四半期は33百万円）、セグメント損失は442百万円（前年同四半期はセグメント損失133百万円）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### 財政状態

当第3四半期連結会計期間の財政状態は、資産については流動資産が13,533百万円（前連結会計年度末比3,183百万円減少）となり、主な要因としては、現金及び預金と売掛金の減少があげられます。固定資産は4,089百万円（前連結会計年度末比724百万円増加）となり、主な要因としては、子会社株式取得に伴ってのれんが増加したことがあげられます。

負債については、流動負債が3,116百万円（前連結会計年度末比614百万円減少）となり、主な要因としては、未払法人税等及び預り金の減少があげられます。固定負債は27百万円（前連結会計年度末比32百万円減少）となりました。純資産は14,479百万円（前連結会計年度末比1,812百万円減少）となり、主な要因としては、利益剰余金の減少があげられます。

### キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べて428百万円増加し、9,628百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は570百万円(前年同四半期は1,940百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失が704百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動により獲得した資金は1,231百万円(前年同四半期は677百万円の使用)となりました。これは主に、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が925百万円、投資有価証券の取得による支出が408百万円、事業譲受による支出が303百万円となった一方で、定期預金の払戻による純収入が3,000百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は327百万円(前年同四半期は137百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

(3) 従業員数

連結会社の状況

当第3四半期連結累計期間において、株式会社Diverse及び株式会社コンフィアンザの株式を新規取得したことによる増加はあったものの、ソーシャルネット事業の中国における開発拠点を閉鎖したことにより、当社グループの従業員数は17名減少し、460名となりました。

提出会社の状況

当第3四半期連結累計期間において、SNS「mixi」の広告販売事業等を営む株式会社ミクシィマーケティングを会社分割(新設分割)により子会社化したこと、及び新規に設立した子会社(株式会社ノハナ)への転籍等により、当社の従業員数は104名減少し、306名となりました。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	52,800,000
計	52,800,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,510,600	15,510,600	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株で あります。
計	15,510,600	15,510,600	-	-

(注) 「提出日現在発行数」の欄には、平成26年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年12月31日	-	15,510,600	-	3,765	-	3,735

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	(自己保有株式) 普通株式 578,600	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 14,930,100	149,301	-
単元未満株式	普通株式 1,900	-	-
発行済株式総数	15,510,600	-	-
総株主の議決権	-	149,301	-

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ミクシィ	東京都渋谷区東 一丁目2番20号	578,600	-	578,600	3.73
計	-	578,600	-	578,600	3.73

2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,199	10,628
売掛金	3,266	2,610
その他	361	348
貸倒引当金	110	53
流動資産合計	16,717	13,533
固定資産		
有形固定資産	916	669
無形固定資産		
のれん	178	1,036
その他	99	132
無形固定資産合計	277	1,169
投資その他の資産		
投資有価証券	1,192	1,322
その他	1,048	1,003
投資損失引当金	68	70
貸倒引当金	1	3
投資その他の資産合計	2,171	2,251
固定資産合計	3,365	4,089
資産合計	20,083	17,623
負債の部		
流動負債		
未払金	925	882
未払法人税等	377	63
預り金	2,116	1,751
資産除去債務	-	27
賞与引当金	197	93
ポイント引当金	-	30
その他	114	267
流動負債合計	3,731	3,116
固定負債		
資産除去債務	21	-
その他	38	27
固定負債合計	59	27
負債合計	3,791	3,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,765	3,765
資本剰余金	3,735	3,735
利益剰余金	10,409	8,499
自己株式	1,690	1,681
株主資本合計	16,220	14,318
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4	96
その他の包括利益累計額合計	4	96
新株予約権	67	58

少数株主持分	-	4
純資産合計	16,291	14,479
負債純資産合計	20,083	17,623

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	9,922	6,357
売上原価	2,838	2,309
売上総利益	7,083	4,048
販売費及び一般管理費	4,740	4,558
営業利益又は営業損失( )	2,342	509
営業外収益		
受取利息	6	3
為替差益	-	37
投資事業組合運用益	21	-
その他	7	12
営業外収益合計	36	53
営業外費用		
持分法による投資損失	28	152
投資事業組合運用損	-	15
その他	0	12
営業外費用合計	29	180
経常利益又は経常損失( )	2,349	636
特別利益		
関係会社株式売却益	406	0
新株予約権戻入益	7	15
特別利益合計	413	15
特別損失		
固定資産除売却損	59	11
減損損失	-	71
のれん償却額	<sup>1</sup> 56	-
特別損失合計	115	82
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	2,647	704
法人税、住民税及び事業税	799	184
法人税等調整額	227	685
法人税等合計	1,026	869
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	1,621	1,573
四半期純利益又は四半期純損失( )	1,621	1,573

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	1,621	1,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	-
為替換算調整勘定	10	92
その他の包括利益合計	10	92
四半期包括利益	1,631	1,481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,631	1,481

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	2,647	704
減価償却費	348	241
減損損失	-	71
のれん償却額	97	82
貸倒引当金の増減額( は減少)	18	57
賞与引当金の増減額( は減少)	81	111
受取利息及び受取配当金	6	3
為替差損益( は益)	12	24
持分法による投資損益( は益)	28	152
投資事業組合運用損益( は益)	21	15
固定資産除売却損益( は益)	59	11
関係会社株式売却損益( は益)	406	0
売上債権の増減額( は増加)	1,248	713
未払金の増減額( は減少)	203	94
未払消費税等の増減額( は減少)	32	56
預り金の増減額( は減少)	292	367
その他	43	51
小計	3,375	77
利息の受取額	8	5
法人税等の支払額	1,443	498
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,940	570
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	5,500	2,000
定期預金の払戻による収入	4,500	5,000
有形固定資産の取得による支出	39	40
無形固定資産の取得による支出	9	77
投資有価証券の取得による支出	165	408
投資有価証券の分配による収入	54	92
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	23	925
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	12	-
関係会社株式の売却による収入	465	85
事業譲受による支出	-	303
その他	52	191
投資活動によるキャッシュ・フロー	677	1,231
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の処分による収入	10	0
配当金の支払額	148	328
財務活動によるキャッシュ・フロー	137	327
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	94
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	1,132	428
現金及び現金同等物の期首残高	7,423	9,199
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 8,555	<sup>1</sup> 9,628

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年12月31日)	
(1) 連結の範囲の重要な変更	株式会社ミクシィマーケティングについては会社分割(新設分割)により新たに設立したため、アイ・マーキュリーキャピタル株式会社及び株式会社ノハナについては新たに設立したため、Scrum Ventures GP L.L.C.については新たに出資したため、それぞれ第2四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。 株式会社Diverse及び株式会社コンフィアンザについては当第3四半期連結会計期間において新たに株式を取得したため、連結の範囲に含めております。
(2) 持分法適用の範囲の重要な変更	株式会社グレンジについては第2四半期連結会計期間に保有する全株式を売却したため、持分法の適用範囲から除外しております。 株式会社フレンゾについては当第3四半期連結会計期間に保有する全株式を売却したため、持分法の適用範囲から除外しております。

(四半期連結損益計算書関係)

- 前第3四半期連結累計期間における特別損失ののれん償却額は、「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」(日本公認会計士協会最終改正平成23年1月12日 会計制度委員会報告第7号)第32項の規定に基づき、のれんを償却したものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
現金及び預金勘定	12,555百万円	10,628百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	4,000百万円	1,000百万円
現金及び現金同等物	8,555百万円	9,628百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月11日 取締役会	普通株式	149	1,000	平成24年3月31日	平成24年6月7日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月15日 取締役会	普通株式	328	2,200	平成25年3月31日	平成25年6月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ソーシャル ネット事業	Find Job! 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,159	729	9,888	33	9,922	-	9,922
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	0	6	24	31	31	-
計	9,166	729	9,895	57	9,953	31	9,922
セグメント利益又は損 失( )	3,535	598	4,133	133	3,999	1,657	2,342

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スマートフォンアプリの開発や米  
国における市場調査を行う事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 1,657百万円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない管理  
部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ソーシャル ネット事業	Find Job ! 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,194	609	5,803	554	6,357	-	6,357
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50	1	52	56	109	109	-
計	5,245	610	5,856	611	6,467	109	6,357
セグメント利益又は損 失( )	1,002	472	1,474	442	1,031	1,541	509

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インターネットリサーチや結婚支援事業、その他新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 1,541百万円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 株式会社kamadoについては、従来、報告セグメントに含めておりませんでした。が、事業形態の変更に伴い、第1四半期連結会計期間より「ソーシャルネット事業」に区分変更しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	全社	合計
	ソーシャル ネット事業	Find Job !事業	計			
減損損失	71	-	71	-	-	71

(注) ソーシャルネット事業の減損損失は、株式会社ミクシィの地方拠点を閉鎖する意思決定を行ったこと、並びに上海蜜秀网络科技有限公司及び上海明希网络科技有限公司を清算する意思決定を行ったことに伴うものであります。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」において、当第3四半期連結会計期間に、株式会社Diverse及び株式会社コンフィアンザの株式を取得し新たに連結子会社としたこと、また、連結子会社である株式会社ミクシィ・リサーチがミステリーショッピングサービス「ショッパーズ・アイ」を事業取得したことに伴い、のれんが940百万円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間における、のれんの償却額は82百万円、未償却残高は1,036百万円であります。

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1. 取得による企業結合

(株式会社コンフィアンザ)

(1) 企業結合の概要

被取得企業の名称及び取得した事業の内容

被取得企業の名称 : 株式会社コンフィアンザ

取得した事業の内容 : 飲食店を利用した「街コン」イベントの運営及び「街コン」イベントを活用した自治体等へのコンサルティング事業

企業結合を行った理由

当社は、「全ての人に心地よいつながりを」提供するために、SNS「mixi」などの事業を展開してまいりました。今後も引き続きより多くの人々に多様なつながりを提供するために、また当社グループとして事業ポートフォリオの拡大を行うため、株式会社コンフィアンザの全株式を取得し子会社化することといたしました。

企業結合日

平成25年11月1日

企業結合の法的形式

株式の取得

結合後企業の名称

株式会社コンフィアンザ

取得した議決権比率

100%

取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、株式会社コンフィアンザの議決権の全てを取得し、連結子会社化したことによるものであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績期間

みなし取得日を平成25年12月31日(株式会社コンフィアンザ決算日)としており、連結財務諸表の作成に当たっては、同社の決算日現在の財務諸表を基礎として連結決算を行うため、当第3四半期連結累計期間には被取得企業の業績を含んでおりません。

(3) 取得した事業の取得原価及びその内訳

取得の対価	現金	100百万円
取得に直接要した費用	アドバイザー費用等	8百万円
取得原価		108百万円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

発生したのれん金額 87百万円

発生原因 被取得企業に係る取得企業の持分額と取得原価との差額により、発生したものであります。

償却方法及び償却期間 効果の発現する期間にわたって均等償却いたします。

(株式会社Diverse)

(1) 企業結合の概要

被取得企業の名称及び取得した事業の内容

被取得企業の名称 : 株式会社Diverse

取得した事業の内容 : 結婚紹介サイト「youbride」などの結婚支援事業

企業結合を行った理由

当社は、「全ての人に心地よいつながり」を提供するために、SNS「mixi」などの事業を展開してまいりました。今後も引き続きより多くの人々に多様なつながりを提供するために、また当社グループとして事業ポートフォリオの拡大を行うため、株式会社Diverseの全株式を取得し子会社化することといたしました。

企業結合日

平成25年12月2日

企業結合の法的形式

株式の取得

結合後企業の名称

株式会社Diverse

取得した議決権比率

100%

取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、株式会社Diverseの議決権の全てを取得し、連結子会社化したことによるものであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績期間

平成25年12月2日から平成25年12月31日までの業績を含めております。

(3) 取得した事業の取得原価及びその内訳

取得の対価	現金	1,070百万円
取得に直接要した費用	アドバイザー費用等	9百万円
取得原価		1,079百万円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

発生したのれん金額 567百万円

発生原因 被取得企業に係る取得企業の持分額と取得原価との差額により、発生したものであります。

償却方法及び償却期間 3年間の均等償却

## 2. 連結子会社による事業譲受

当社の連結子会社である株式会社ミクシィ・リサーチは、平成25年12月2日に吸収分割契約により、株式会社イトクロよりミステリーショッピング事業を取得いたしました。

### (1) 企業結合の概要

相手先企業の名称及び取得した事業の内容

相手先企業の名称 : 株式会社イトクロ

取得した事業の内容 : 飲食店・アパレル・ブライダルなどの企業が、店舗でのサービス体験を調査しサービス改善につなげるために、モニター（ミステリーショッパー）の覆面調査を行うミステリーショッピング事業

企業結合を行った理由

ミクシィ・リサーチ社は、現在事業展開しているSNS「mixi」のユーザーを中心とした若年齢層向けのネットリサーチ事業に加えて、「ショッパーズアイ」のミステリーショッピング事業を手がけることで、今後オンライン、オフライン双方においてリサーチ事業を展開することが可能となるため、当該事業を取得することいたしました。

企業結合日

平成25年12月2日

企業結合の法的形式

現金を対価とする吸収分割による事業承継

結合後企業の名称

株式会社ミクシィ・リサーチ

取得企業を決定するに至った主な根拠

株式会社ミクシィ・リサーチが、現金を対価として株式会社イトクロのミステリーショッピング事業を譲り受けたことによるものであります。

### (2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績期間

平成25年12月2日から平成25年12月31日までの業績を含めております。

### (3) 取得した事業の取得原価及びその内訳

取得の対価	現金	300百万円
取得に直接要した費用	アドバイザー費用等	5百万円
取得原価		305百万円

### (4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

発生したのれん金額 285百万円

発生原因 取得した資産及び引き受けた負債の純額と取得原価との差額により、発生したものであります。

償却方法及び償却期間 4年間の均等償却

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )	108.61円	105.40円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(百万円)	1,621	1,573
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(百万円)	1,621	1,573
普通株式の期中平均株式数(株)	14,928,226	14,932,349
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	108.51円	-円
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(株)	13,100	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	平成24年8月3日取締役会決議 ストック・オプション(新株予約権) 普通株式 40,300株 行使価格 1,333円	-

- (注) 1. 当社は、平成25年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
2. 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月13日

株式会社ミクシィ  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中	桐	光	康	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	菊	地		徹	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミクシィの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミクシィ及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。